

THANKS サンクス（運動）基金 趣意書

少子高齢化の進展、核家族・単身世帯の増加、地域の連携意識の希薄化を背景に、社会的孤立の問題や子どもの貧困をはじめとする生活困窮者の増加、虐待など、これまでの制度やサービスだけでは解決が困難な福祉・生活課題が顕在化しています。

このような状況を踏まえ、社会的孤立状態にあるまたはそのリスクのある方々や、生活課題を抱えている方々に対して、身近な地域における支え合い活動や、関係機関・団体が連携して支援する仕組みづくりを推進するため、平成29年度から「地域の人々が明るいネットワークを築き支え合う社会の実現」をスローガンに県民運動である「THANKS（サンクス）運動」を展開してまいりました。

あわせて、制度の狭間に置かれた社会的課題の解決に向けた支援方策の検討をはじめ、市町村段階における運動展開、県民運動としての機運の醸成等の取り組みを一層強化していくため、この度、THANKS（サンクス）運動基金（以下、基金という）を設立いたしました。

基金を活用し、ヤングケアラーや生活困窮など制度の狭間におかれた複雑化・複合化した地域生活課題の解決に取り組む団体への助成事業等に取り組み、住民一人ひとりが地域における様々な課題に対して目を向け、誰もが課題を抱えている方に寄り添う地域を目指します。

こうした取組を継続していくためには、企業や県民の皆様からの支援が必要となりますので、昨今の厳しい社会経済情勢ではございますが、上記の趣旨にご賛同いただき、当基金への寄付に対して、格別のご配慮賜りますようお願い申し上げます。

THANKS（サンクス）運動はSDGsが示す以下の目標と関連づけ、目標達成に向けた事業・活動に取り組みます。



令和5年7月4日

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会

会長 湧川 昌秀

